

研究テーマ	自己表現力を高めるための「書く活動」の指導の在り方 ～意図的な単語提示と習得活動の工夫
-------	--

第3学年*組 外国語（英語）科 学習指導案

指導者 (T1) 村木 暁子
(T2) 羽鳥 友美
ALT Bannister Guy Edward

1 単元名 Learn by Losing Unit 4

2 単元の見積

- 「疑問詞+to 不定詞」, It is ... for - to ~, want ... to ~ の表現を活用しようとする。
〈コミュニケーションへの関心・意欲・態度〉①
- 「疑問詞+to 不定詞」, It is ... for - to ~, want ... to ~ を用いて, 自分のことや友だちのことを話したり書いたりすることができる。
〈外国語表現の能力〉②
- 「疑問詞+to 不定詞」, It is ... for - to ~, want ... to ~ を用いた文を理解することができる。
〈外国語理解の能力〉③
- 日本の国技である相撲を通して, 日本文化の理解を深めることができる。
〈言語や文化についての知識・理解〉④

3 単元の指導にあたって

(1) 単元について

本単元は学習指導要領の「(3) 言語材料 エ 文法事項」の中の「(イ) 文構造 c [主語+動詞+目的語]のうち, (a) 主語+動詞+how (など) to 不定詞, f その他 (b) It +be 動詞+形容詞(+for~+to 不定詞や (c) 主語+tell, want など+目的語+to 不定詞」を受けて設定されている。

また, 題材として日本の国技である相撲が取り上げられている。外国人力士の日本語の失敗談から, 日本語や日本文化に目を向け, そのよさや難しさを再確認し, 言語や文化に対する関心を高め, これらを尊重する態度を育成することをねらいとしている。

(2) 生徒の実態

本学級は, 落ち着いた授業態度で, 個人作業などに集中して取り組むことができる。しかし, 自分の考えや意見に自信がもてず, 質問に対してすすんで自分の答えを発表したり, みんなの前で自分の考えを述べたりする生徒が少ない。単語の発音や音読活動においても英語の発音に対する抵抗が強く, 意欲的に学習している生徒まで遠慮がちになっている。

(3) 指導について

本単元で学習する「疑問詞+to 不定詞」の形は, すでに学習している疑問詞の後に to 不定詞が続くことにより「いかに…するか」→「~の仕方 (やり方)」のような意味を表すことを理解させたい。生徒が自分のことに置き換えやすい身近な話題を取り上げ, 「~の仕方 (やり方) を知っている。」「~の仕方 (やり方) を知らない。」などの言い方で話したり, 書いたりできるようにしたい。授業ごとの活動内容や基本表現を明確にし, 授業時間内に繰り返し活用できる機会を意図的に設定したうえで, 新しい内容を読んだり, 書いたり, 聞いたり, 話したりすることを通して定着を図るように心がけている。自分の知っている言葉で表現する, 間違えを恐れずにやってみること等の大切さを感じながら, その場に応じた自然な英語での発話を体得できるようにしていきたい。

4 研究テーマとの関わり

- 自己表現力を高めるために

簡単な英語を用いて自分の考えを話したり, 書いたりするためには, それらを表現する基本的な単語を覚えることが必要不可欠である。新出単語は, 単語暗記シートを活用し, 毎時間の5問テストとワードサーチで繰り返し綴りの確認練習を行っている。今までに学習した動詞や形容詞の変化活用は毎時間発音しながら確認し, 自分の知りたいことやその理由など, 自分の考えをふくらませ, 表現できるようにしたい。基本文

の習得から、相手の言葉を理解する活動、自分の情報を伝える活動、知り得た情報をまとめる活動を繰り返すことで、英語の4領域（「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」）の活動をバランスよく取り入れ、英語表現を楽しもうとする意欲を育てていきたい。

5 指導計画（6時間扱い）

時	学 習 内 容	評 価 規 準（観 点）
1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 「疑問詞+to不定詞」の形・意味・用法を理解し、友だちのことについて英語で書く。 「疑問詞+to不定詞」を用いて積極的に友だちに尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「疑問詞+不定詞」の意味を理解し、自分のことについて英語で書くことができる。② 積極的に友だちと問答しようとしている。①
2	<ul style="list-style-type: none"> It is ... for - to ~. の形・意味・用法を理解し、それを用いて自分の事について英語で書く。 	<ul style="list-style-type: none"> It is ... for - to ~を用いて自分のことを英語で書くことができる。②
3	<ul style="list-style-type: none"> 英語での相撲の紹介、一郎とベッキーとの対話の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語での相撲の紹介、一郎とベッキーとの対話の内容を理解することができる。③
4	<ul style="list-style-type: none"> want ... to ~の形・意味・用法を理解し、表現する。 外国人力士のエピソードを読んで、内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> want ... to ~を用いて自分のことについて英語で書くことができる。② 外国人力士のエピソードを読んで、日本語の難しさを理解することができる。④
5	<ul style="list-style-type: none"> 評価テスト（「疑問詞+to不定詞」、It is ... for - to ~, want ... to ~の形について） 外国人力士のエピソードを読んで、内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「疑問詞+to不定詞」、It is ... for - to ~, want ... to ~の形を理解し、表現することができる。②③ 外国人力士のエピソードを読んで、日本語の難しさを理解することができる。④
6	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞+to不定詞, It is ... for - to ~, want ...to ~の形について確認、復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞+to不定詞, It is ... for - to ~, want ...to~の形を用いて英作文できる。②

6 本時の指導

- (1) 目標 ○ 積極的な問答を通して友だちについて知ろうとしている。
 〈コミュニケーションへの関心・意欲・態度〉①
 ○ 「疑問詞(how) + to不定詞」を用いて自分のことを表現することができる。
 〈外国語表現の能力〉②

(2) 準備・資料

フラッシュカード、ワークシート、写真、イラスト、teacher バッジ、ヘルプカード

(3) 展開

学 習 活 動 ・ 内 容	教師の支援・評価 ※テーマにせまる手立て	
	T1	T2・ALT
1 Greeting 2 Warm-up ・New Words の確認 ・スラスラ英単語	<ul style="list-style-type: none"> 元気にあいさつをする。 新出単語の発音を確認し、綴りの確認と5問テスト、ワードサーチの支援をする。 チェックシート（既習の頻出動詞をリストアップしたもの）を用いて、日本語→英語、英語→日本語、語形変化などを確認する。 ※本時の課題で活用できる単語を提示し、繰り返し練習にあたる。 	

<p>3 本時の課題を知る。</p> <p>疑問詞 how+to～ (～の仕方) を使って自分のことや友だちのことを話そう。</p> <p>(1) 基本表現の口頭練習をする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">I (don't) know how to ～. I want to know how to ～.</p> <p>(2) 自分のことについて基本文を使って書く。</p> <p>(3) 友だちと対話し、内容をメモする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">What do you want to know? —I want to know how to ～. Because I like ～.</p> <p>(4) メモした友だちの情報についてその内容を文にまとめ、発表する。</p> <p>4 まとめ自己評価をし、次時の内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味を持っている物の写真・イラスト等を用いて、デモンストレーションにつなげる。 ・how to の後にどのような動詞が使われているか、知りたい理由をどのような内容でどのように表現しているかに注目させ、確認する。 ・how to を用いた基本文の発音に親しむよう励ます。 ・how to + 動詞の原形を用いた文とその理由を書くよう指示する。 ※スラスラ英単語で練習した単語を再度確認する。 ・表現の仕方や書き始めがわからない時はヘルプカードを提示するよう指示する。 <p>評 積極的な問答を通して友だちのことについて知ろうとしている。(観察：コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p>評 「疑問詞(how)+to 不定詞」を用いて自分のことを表現することができる。(ワークシート：外国語表現の能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や絵を見ながら how to ～を用いて、「～のやり方を知りたい」という文とその理由をデモンストレーションする。 ・基本表現に慣れるように繰り返し発音練習にあたる。 ・机間指導を行い、支援が必要な生徒にヒントを与える。 ・活動の早い生徒に teacher バッジを渡し、他の友だちを助けるよう促す。 ・声かけできないでいる生徒の支援をする。 ・机間指導を行い、支援が必要な生徒にヒントを与える。 <p>・発表の時間を確保する。</p> <p>・本時の内容を振り返り、次時の内容を予告して意欲を持続させるようにする。</p>
--	---	---